



かけはし



文責：小倉

たくさんの方々からの学び ～ゲスト・ティーチャー来校～

小学校では学級担任がすべての授業を行うイメージがありますが、実は担任以外にも様々な方が授業を受け持ちます。3年以上の理科や5、6年の算数は、「専科」と呼ばれるその教科専門の教員が授業を担当します。また、通常学級や特別支援学級の合同授業においては、通常学級の担任が授業を行ったり、特別支援学級の担任が授業を行ったりします。子供たちが授業を通して、様々な人格に触れることは、授業の効率化以上に意味があることだと感じています。

また、校外から、その分野の専門の方に来ていただくこともあります。今回は校外からゲストティーチャーとして、熊本初の夜間中学校「ゆうあい中学校」の校長先生である小原ひとみ先生と、陸上競技が専門の不知火中学校の田上大太郎先生をお招きしまして学習を進めました。

道徳の学びに

6年生は道徳の学習で、94歳になって初めて小学校に入学して学んでいるケニアのおばあちゃんの姿を題材にして、「学ぶこと」や「生きること」の意味について学習を行いました。その学習の発展として、今年熊本県に初めて開設された「夜間中学」である「ゆうあい中学校」の小原ひとみ校長先生をお招きして、子供たちにお話をいただきました。

子供たちは、様々な事情で十分義務教育を受けられなかった方々が、歳を重ねた今、学ぼうとしている姿に触れ、「学ぶことの意味」そして「生きることの意味」をしっかりと考え、感じ取ってくれたように思います。

熊本県立ゆうあい中学校は、熊本県に居住し、小学校や中学校を卒業していない方や、様々な理由により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方など（国籍は問いません）が、中学校の学習内容を「学び直し」のための学校です。令和6年4月に開校した県内初の夜間中学です。



体育の授業に

不知火中学校と不知火小学校では、1小1中のメリットを生かして、不知火型の小中一貫教育に取り組んでいます。職員の交流や子供たちの交流活動等を計画しています。今回はその一環として、運動会や陸上記録会が近づくこの時期に、中学校の体育教師による「陸上教室」を実施しました。不知火中学校から陸上競技が専門の田上大太郎先生をお招きして「速く走るための秘訣」を学びました。今後も練習を続け運動会や陸上記録会での成果につながることが期待しています。



最高の運動会に向けて！～結団式～

10月27日（土）の運動会本番に向けて、今週から本格的な運動会練習が始まります。初日は、児童会で議論してきた「運動会のスローガン」の紹介がありました。今年のスローガンは、「ライバルとともに 心を燃やせ 不知火魂」です。赤団、白団が、好敵手となり互いに切磋琢磨しながら成長してくれることを祈っています。

ライバルとともに
心を燃やせ 不知火魂



赤団全員で、赤団魂燃やして勝ちに行くぞ！

いっちだんけつ
一致団結！



※ 参考として、裏面に「県立ゆうあい中学校」の「体験授業会」のチラシを掲載しています。